

■報告 消息

・先週12日より、礼拝時間を通常に戻しました。久しぶりに礼拝式に出席された方もあり感謝でした。まだまだ油断は禁物ですが、コロナ禍にあっても共に主を礼拝できる恵みを感謝します。

・第2礼拝後には、会堂とトイレの清掃を出席者で手分けして行いました。会堂が清潔に保たれて感謝です。

・小学科礼拝も再開しました。子どもたちも3か月ぶりの来会。様々な制限、感染防止対策の中ですが、ひとときを共に過ごせて感謝でした。

・学校も再開されていますが、都内でも子どもの感染事例が報告されています。子どもたちが感染予防に努め、守られるようにお祈りください。

・7月12日 礼拝出席者数 報告

(重複出席者数は除いています)

第1礼拝 21名
第2礼拝 48名
小学科礼拝 小5名 中高2名

・礼拝式に出席を願いつつも、それぞれのご事情でかなわない方も多数おられます。焦らずに主の最善の時を待ち望みましょう。主の守りを祈ります。

・本日は、教団用件にて荻野倍弘牧師(沼津教会)が礼拝に出席されています。

・白坂家納骨式 11日(土)、5月に召された白坂昌子姉の納骨式を、ご本人の希望通りに石田牧師の司式で多磨霊園の教会墓地にて執り行いました。

■支援献金募集 九州南部豪雨災害

九州を中心として西日本各地で豪雨災害が発生しています。私たちはキリスト教団体を通じて支援金をお送りします。礼拝堂に設置している支援献金箱におさげください。振込や郵便でも受け付けています。

また、被災された方々や現地で支援にあたっている方々のために祈りましょう。

■教会メールアドレス

zion@am.wakwak.com

メールには必ずお名前をご記入ください

No.16 2020・7・19

主はモーセにこう告げられた。「イスラエルの子らに告げよ。あなたがたが聖なる会合として招集する主の例祭、すなわちわたしの例祭は次のとおりである。」

レビ記 23章 1・2節

レビ記には、エジプトの地から召し出されたイスラエルの民が、神の民として、すべての国民の中で、主の証人となるために必要な奉仕の規定とその規則が記されています。特に本日扱う23章は「聖なる会合」「主の例祭」についての、主からの命令です。共に集まることの大切さ、いつ、どのような意義づけをもって集まるかが示されています。それは、カナンに入って、先住民の中に散って生活していく彼らにとって必要な神の配

慮だったので。

主は、年間の定期的な例祭の規定の前に、まず「安息日」のことを記しておられます。一年を通じて七日ごとに行うべき例祭で、

創造における神の業の完了を祝う礼拝と安息の日です。これは現代に生きるクリスチャンには、週の初めの日、すなわちイエス・

キリストの復活を記念し、贖いの完成を祝うために集まる日として、命じられています。続いて、のちにユダヤの三大祭といわれ

る逾越・七週・仮庵の祭を含むべき「主の例祭」が暦を追って挙げられています。

これらの規定を「ねばならない」律法としてとらえるのではなく、私たちに、神が与えてくださったっている恵みを、確認・維持・成長させるためのものとして受けとめましょう。

本日の交読、詩篇122篇1節に「さあ、主の家に行こう」人々が私にそう言ったとき、私は喜んだ」とあります。私たちは「アーメン」と言えるでしょうか。

例祭(礼拝)を、「喜び」として、「喜びにつながるもの」として、「喜びを証しするもの」として捉えらるることができたら幸いです。